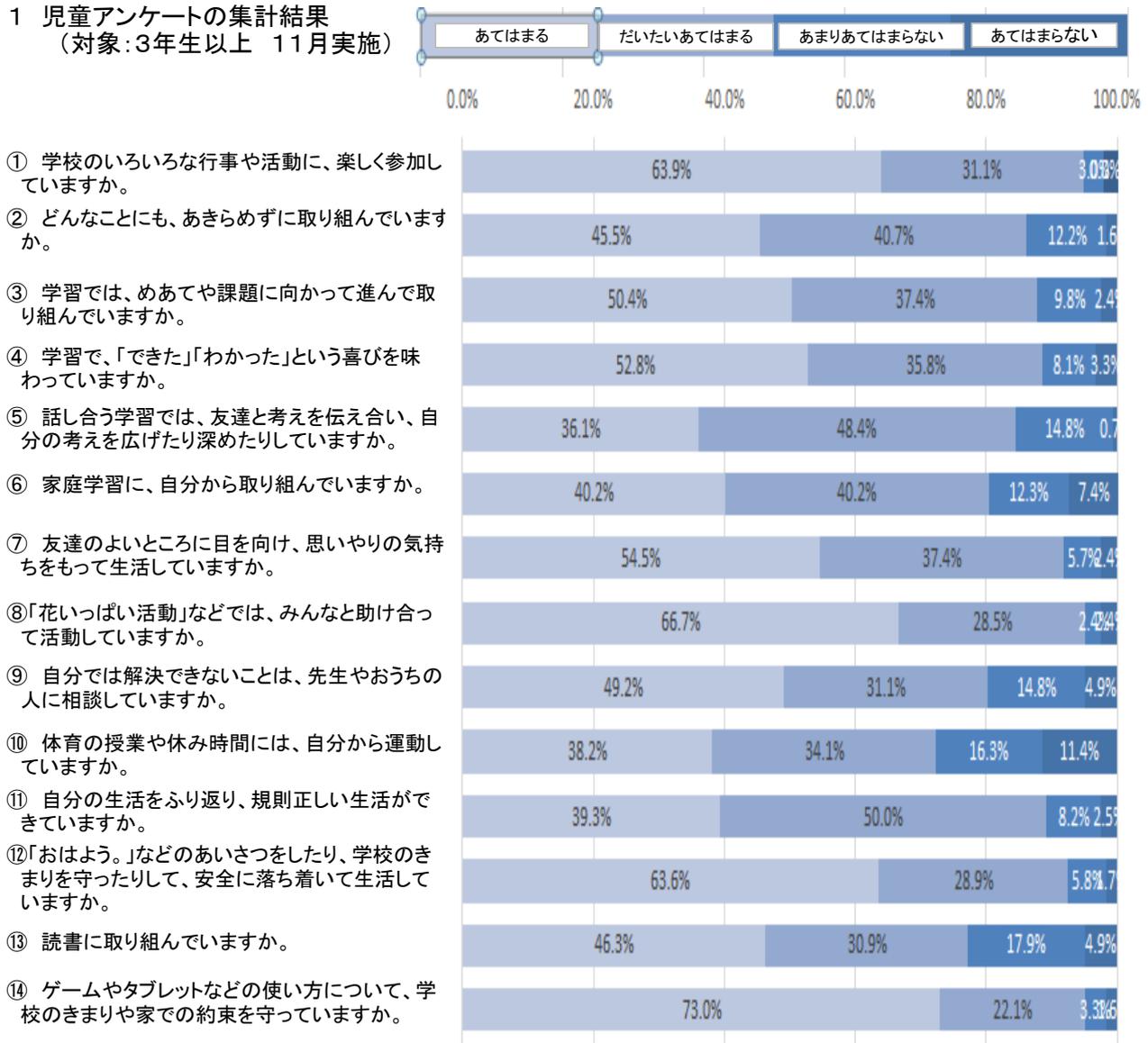


# 令和5年度 原町第二小学校 学校評価アンケート結果公表

原町第二小学校長 横山 雄彦

保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、本校の学校評価にご協力いただきましてありがとうございました。皆様からのご意見を基に次年度の教育計画を作成し、子どもたちのために豊かな教育活動が実践できるよう努力して参ります。

## 1 児童アンケートの集計結果 (対象:3年生以上 11月実施)

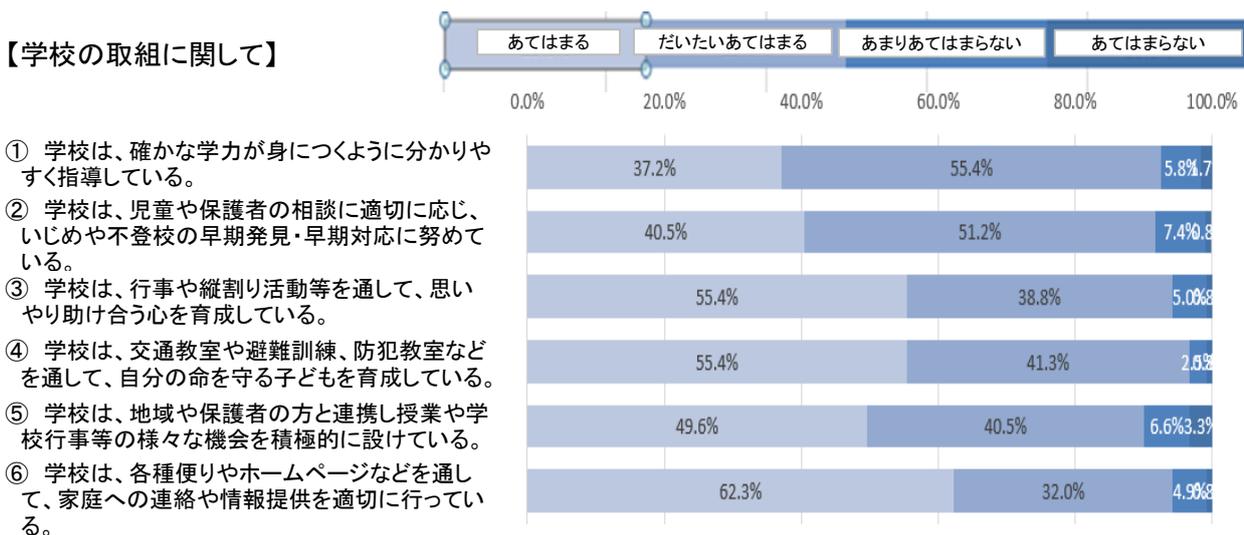


14項目中、5項目について肯定的な回答（「あてはまる及びだいたいあてはまる」が90%以上）であった。特に、本校の特色ある教育活動の一つである「⑧花いっぱい活動」についての項目は95.2%の回答があり、異学年集団での植栽活動による思いやりの心の育成の成果が表れていると言える。また「⑦他者理解」について肯定的な回答が多く、今年度「チャレンジしよう みとめあおう」を重点目標として、様々な場面において、友達の考えのよさに目を向けさせたり広げたりしてきたことが、子どもたちにも意識化されてきたと言える。一方、学習面の「⑤対話的な学び」については、自分の思いや考えを伝え合うことが十分にできていない実態が見られる。授業だけでなく教育活動全体を通して、子どもたち同士が「学び合い・高め合う」場面を、更に意図的に設定していくことで改善を図ることができると考える。

「⑩運動習慣」「⑫読書習慣」については、他項目よりも肯定的な回答の割合が低く、約70～80%程度と昨年同様の結果となった。チャレンジ運動習慣や業間マラソン、また朝の読書の時間や読書イベント等の取り組みを進めてきたが、今後、更に子どもたちの意欲向上を図るための実践を工夫していく必要がある。

## 2 保護者アンケートの集計結果（対象:全保護者 11月実施）

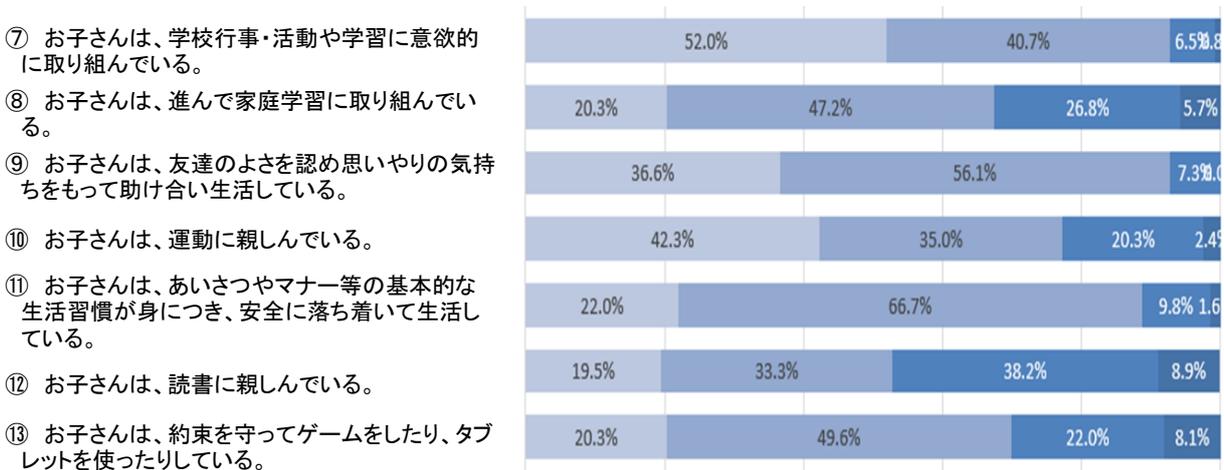
### 【学校の取組に関して】



学校の取組に関する評価は、6項目中、全項目が肯定的な評価（「あてはまる及びだいたいあてはまる」が90%以上）であった。特に「④安全や命を守る取組」についての評価が高く、家庭や地域の関係機関と連携した行事（引渡訓練・交通教室等）の実施が、子どもたちの安全意識が高めるために大変効果的であったと考える。次年度以降も取組を工夫し、魅力ある教育活動を計画していきたい。

「①確かな学力の定着」については、C・Dの割合が7.4%と学力の定着を課題としている家庭が見られる結果であった。児童アンケート「④学習での充実感・達成感」においても、C・Dの回答が11.4%見られたことから、子どもたち一人一人の力に応じた適切な個別指導・支援をより充実させていく必要がある。

### 【お子さんに関して】



家庭の取組に関する評価は、7項目中、2項目が肯定的な回答（「あてはまる及びだいたいあてはまる」が90%以上）であった。特に「⑦学校行事・活動への意欲」「⑨他者理解」については、高い回答が得られた。

一方、「⑫読書習慣」「⑧家庭学習の習慣」「⑬ゲームやタブレットの利用」についての肯定的な回答は、50～60%台に止まっている。これら3項目については関連性が高く、児童アンケート「⑭ゲームやタブレットの利用」の回答結果とのずれも見受けられることから、今後も、家庭と連携し「学校・家庭におけるICT機器のよりよい利用の仕方」を最重点項目として指導を継続していきたいと考える。子どもたち自身が、自らの生活習慣について振り返り改善することができる力（自己マネジメント力）を更に高めていきたい。